

## 世界情勢と大正デモクラシー —国際協調・アジアの民族運動と大正デモクラシー—

大田原市立親園中学校 荒井清之

## 1 はじめに

本単元は、学習指導要領・2 内容・大項目(5) 近現代の日本と世界・中項目オ「第一次世界大戦前後の国際情勢のあらましを理解させるとともに、民族運動の高まり、国際平和への努力、この時期の我が国の国民の政治的自覚の高まりに気付かせる」に基づき構成されている。

内容の取扱いでは、第一次世界大戦前後の世界の動きと我が国との関連を重点的にとらえさせること、大正デモクラシーの展開の概略をとらえさせること、の2点が述べられている。

## 2 単元観および単元構成

## (1) 単元観

第一次世界大戦は、ヨーロッパ列強の帝国主義政策によって引き起こされた歴史事象である。そして、この大戦により、列強による露骨な帝国主義政策には終止符が打たれた。

さらに、大戦の結果とその処理は、その後の世界の動向に大きな影響を及ぼした。ベルサイユ体制の成立と崩壊は第二次世界大戦に直結し、国際協調と民族自決の高まりは、平和な国際社会を構築しようとする新たな動きにつながってゆく。第一次世界大戦は世界史上の結節点であり、第二次世界大戦と併せて現代社会への出発点でもありと考えられる。

また、国際協調の高まりは、我が国の政治・外交・社会に対して影響を及ぼした。政党内閣の成立や国際協調外交、普通選挙制の実現等に代表される大正デモクラシーの展開は、当時の国際情勢と関連づけてとらえられよう。

以上の観点から、本単元は、歴史学習を進めるうえで、重要な単元の一つであると考えている。

## (2) 単元構成 … 5時間扱い

以下のように単元を構成し、各小単元を教科書の見出しで示した。

ア「第一次世界大戦と日本」… 2時間  
「国際協調とアジアの民族運動」

(～ロシア革命とシベリア出兵)

イ「国際協調とアジアの民族運動」… 2時間  
(ベルサイユ体制とワシントン体制～)

「大衆運動の高まり」「政党政治の展開」

ウ「日本経済の成長と社会の変化」… 1時間  
「大衆の文化・街頭の文化」

ここでは、小単元イの授業展開についての私案を提示する。この小単元を設けたのは、政党内閣の成立や国際協調外交、普通選挙制の実現等に代表される大正デモクラシーの展開を、当時の国際情勢と関連づけながらとらえさせたいと意図したからである。

## 3 小単元のねらい

- (1) 大正デモクラシーの展開のあらましを、当時の国際情勢と関連づけながらとらえさせる。
- (2) 当時のできごとの中から興味のあるできごとを調べてまとめさせることにより、知識を獲得させ、歴史に対する見方・考え方を深めさせる。

## 4 授業の展開例

- (1) 共通テーマの提示

第一次世界大戦後の世界と日本で、何が起こったろう？

- (2) ワークシート作業①

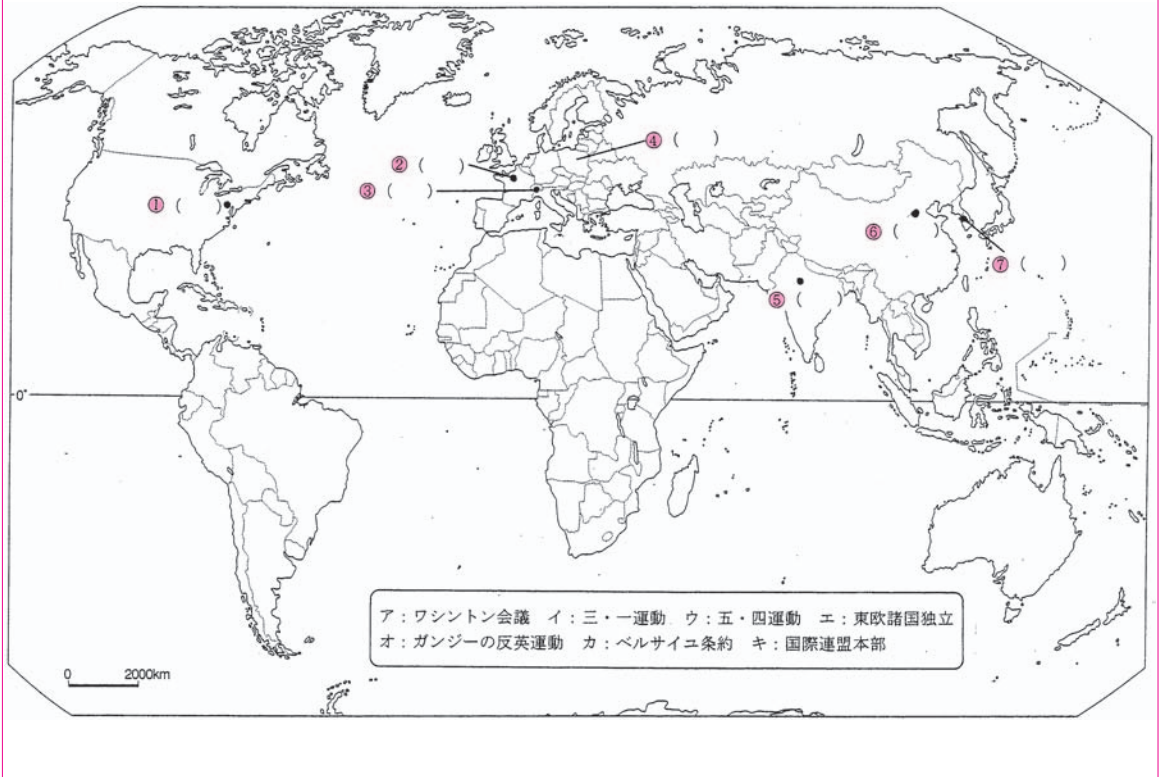
ア ワークシート1に示した世界地図の( )に当てはまる語句を語群から選び、記号で記入しよう。

イ 年表【第一次世界大戦前後の世界と日本】中の「世界のできごと」欄を完成させよう。

ウ 年表【第一次世界大戦前後の世界と日本】中の「日本のできごと」欄を完成させよう。

【ワークシート1】

◎下の世界地図の（ ）に当てはまる語句を語群から選び、記号を記入しよう。



年表【第一次世界大戦前後の世界と日本】

※大正時代（大正1年：1912年～大正15年：1926年）

◎下の年表の「世界のできごと」欄を完成させなさい。→「日本のできごと」欄を完成させなさい。

西暦	年号	世界のできごと	日本のできごと
1912	大正1		第一次（ケ ）運動が起こる
1916	5		吉野作造、（コ ）主義を唱える
1918	7	（ア ）の平和原則が示される 第一次世界大戦が終結する	（サ ）騒動が起きる （シ ）内閣が成立する
1919	8	3月、（イ ）運動が起きる 5月、（ウ ）運動が起きる （エ ）条約が結ばれる ドイツ、（オ ）憲法を制定する （カ ）が反英闘争を開始する	
1920	9	（キ ）連盟が設立される	第1回（ス ）が開かれる
1921	10	（ク ）会議が開かれる （～22年）	（セ ）同盟が成立する
1922	11		（ソ ）組合が成立する （タ ）社が成立する
1924	13		第二次（チ ）運動が起こる （ツ ）期成同盟が成立する
1925	14		（テ ）制度が実現する

※これらの作業のねらいは、

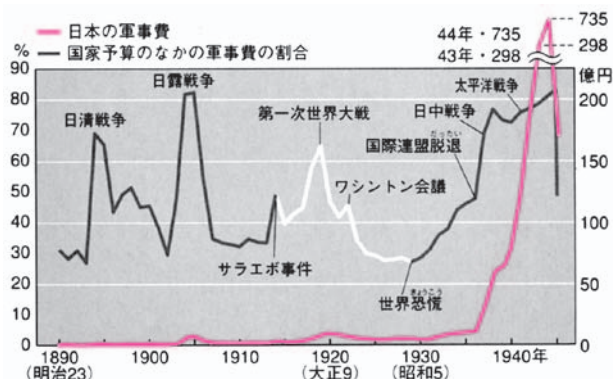
- ・大戦後の世界の動向を、空間的な広がりをもってとらえさせる。
- ・大正デモクラシーの展開のあらましを、当時の国際情勢と関連づけながらとらえさせる。…(重点)の2点である。

作業後、教師は大戦後の国際社会の動向と大正デモクラシーの展開のあらましについて説明を加える。

その際、生徒が大正デモクラシーの展開を国際社会の動向と関連づけてとらえることができるよう配慮する。

また、教科書に掲載されている資料等を活用して、要旨を押さえた簡潔な説明を心がけたい。

【資料例】



▲③ 日清戦争から第二次世界大戦までの軍事費 <昭和経済史>

図の線をなぞってグラフを完成させましょう。なぞった部分の軍事費の割合はどのようにかわっていますか。



▲② 五・四運動 北京の天安門広場集った学生たちのようすをえがいた絵です。

帝国書院「中学生の歴史(最新版)」p.189

(3) ワークシート作業②

ア 年表【第一次世界大戦前後の世界と日本】の「世界のできごと」欄から一つのできごとを選んで課題とし、調べたことがらをワークシート2にまとめよう。

イ 年表【第一次世界大戦前後の世界と日本】の「日本のできごと」欄から一つのできごとを選んで課題とし、調べたことがらをワークシート2にまとめよう。

【ワークシート2】

◎課題を調べよう! 2年 [ ] 組 [ ] 番  
氏名 [ ]

1 課題 [ ] について

2 [ ] の概要

(1) いつ(いつ頃)のできごと?

(2) 関係する場所(国・地域)は?

(3) できごとの内容(あらまし)は?



3 調べてわかったこと・考えたこと

※ここでは、調べ学習を行わせることにより、知識の獲得と歴史に対する見方・考え方を深めさせることをねらいとしている。同一のワークシートを用いて、「世界のできごと」欄・「日本のできごと」欄からそれぞれ一つずつ課題を選択させ、調べ学習を行わせる。ワークシート・3の記述内容を重視したい。

完成したワークシートは印刷して冊子にまとめ、知識の共有化を図るために生徒に配布、各人のまとめたことがらを確認させる。

さらに、前出の年表や生徒の作成したワークシートを活用して学習のまとめを行い、小単元のねらいを達成したい。